

第2学年 組*学級活動指導案

指導者 ** **

- 1 題材名 「なりたい自分について知ろう」
学級活動（3）ウ 主体的な進路の選択と将来設計

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領解説特別活動編第1節学級活動2内容（3）ウ「主体的な進路の選択と将来設計」を受け設定している。友人や保護者との会話を通して、新たな考えを取り入れたり、自分の考えを再確認したりし、そこで得た情報を踏まえて主体的な選択をできるようにしたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、落ち着いた生徒が多く、学習に対して意欲的に取り組む姿が見られる。しかし、自分の考えや意見を表現することが苦手で、話し合い活動が円滑に進まない場面も見られる。

2学年になり、総合的な学習の時間に職業調べを行ったり、校外学習で職業人と交流したりして、自己の将来について考える機会が増えた。

自分の将来に関するアンケート

調査日：令和4年*月*日 調査人数*人

① 将来のなりたい夢や自分像がありますか。 ある *人 ない *人
② 将来のなりたい自分のために何をすればよいのか、具体的に分かりますか。 分かる *人 分からない *人

自分の将来に関するアンケートの結果からも、*割の生徒が将来の夢やなりたい自分像についてイメージをもっていることが分かった。しかし、そのために必要なことやこれからどんな行動をしていけばいいかについては、具体的に理解していない生徒が多いことが分かる。また、分かると答えた生徒でも、「技術を習得する」や「自分の課題を見つける」などと具体的な考えには至っていない生徒が多い。

(3) 指導観

生徒の実態から自分の将来について見つめる必要性がある。また、自分の将来像を設計することで、今後取り組むべきことが明確になり学習や生活への意欲向上につながると考える。これらの活動を行う中で、生徒一人一人が自己の在り方や生き方を考え設計する力を育てられるようにする。

(4) キャリア教育との関連

人間関係形成・社会形成能力(A)	自己理解・自己管理能力(B)	課題対応能力(C)
ア 自分の置かれている状況を受け止め、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。	ア 自分がしたいことを理解し、主体的に行動することができる。	ア 計画を立てて、その課題を処理し解決することができる。

3 題材の指導目標

自分の将来像について考え、話し合いから適切な情報を収集・整理し、自己の個性や関心と照らし合わせて考える態度を育てる。

4 題材の評価規準

知識・技能①	思考・判断・表現②	主体的に学習に取り組む態度③
ア 自分自身の生活をよりよくするために必要な情報を収集・整理している。	ア 自分らしい生き方の実現に向けて、現在の生活についての課題を見いだしている。	ア 自己の生活向上の課題に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、取り組もうとしている。

5 題材の指導計画及び本時の学習（全4時間）

段階	時間	学習課題及び本時の学習活動	・指導の手立て ◎評価規準（評価方法） ☆キャリア教育の視点
導入	学級活動	・なりたい自分とそのために必要なことを考える。	◎自分らしい生き方の実現に向けて、現在の生活についての課題を見いだしている。 ②ア(ワークシート、観察) ☆自分がしたいことを理解し、主体的に行動することができる。(B)ア
追究	学級活動(本時)	1 つかむ(5分) ・前回の授業で行った、なりたい自分とそのために必要なことを確認する。 ・本時のめあてを知る。 めあて「なりたい自分宣言をしよう」	・自分の理想像とそのために必要なことはどのようなことだったかを再度確認する。
		2 さぐる・みつける(30分) ・なりたい自分と自分の長所と短所、そのためにやっていくことを発表する。 (1)グループ内で共有する。(GW) (2)発表に対してアドバイスをする。(GW) ・アドバイスをもとに「なりたい自分宣言」とそのために必要な3箇条を書く。(PW)	・ワークシートに書いてあることを発表できるように助言する。 ☆自分の置かれている状況を受け止め、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。(A)ア ・発表内容の改善案だけでなく、よい点も認めてあげられるように促す。 ◎自分自身の生活をより良くするために必要な情報を収集・整理している。 ①ア(ワークシート、観察) ・3箇条は振り返りをしやすいように、具体的に、前向きな言葉で書くように助言する。 ☆計画を立てて、その課題を処理し解決することができる。(C)ア
		3 きめる・振り返る(15分) ・自分の決めた宣言をグループで発表する。 ・掲示用の「なりたい自分宣言」とそのために必要な3箇条を書く。 ・振り返りをする。	・宣言をすることで、強い意志をもてるようにする。 ・自己評価やこれからの見通しをもてたかを中心に、学習の振り返りができるように助言する。
まとめ	家庭	・保護者になりたい自分像と、そのためにやることを宣言する。	・理想の自分とそのためにどんな行動をしていくのか、保護者に宣言ができるようにする。 ☆自分の置かれている状況を受け止め、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。(A)ア
	学級活動	・今の段階で、どの程度なりたい自分に近づいているか確認をする。	・今の時点で、なりたい自分になるための行動がどの程度できているか、チェックシートを使って確認できるようにする。 ◎自己の生活向上の課題に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、取り組もうとしている。③ア(ワークシート、観察) ☆計画を立てて、その課題を処理し解決することができる。(C)ア